



携帯・スマホから
アクセスできます

おいしいだ

大石田町

自治体から発令される
災害情報や
役立つ防災情報が
まるわかり！



災害の備えの第一歩は、
適切な情報収集から。

もしもの災害に備えるには、備蓄や非常持出品などの「モノ」だけでなく、自治体から発令される災害情報や、災害ハザードマップなどの「情報」があることで、命の危険から身を守ることに繋がります。災害がいつ起きても対応できるように、防災への意識を高めていきましょう。

災害に備える Yahoo! 防災速報アプリ / P 2~3
第55回芸術祭・第49回武道大会 / P 4~5
除雪作業にご協力を / P 6~7

おいしいだものがたり ~角二山遺跡編~

現在資料館で開催中の「角二山遺跡発掘50周年記念企画展 大石田の遺跡と遺物 展」に寄せて、今回は角二山遺跡をご紹介します。

角二山遺跡は1970年（昭和45年）最北職業専修学校建設中にその存在が明らかになりました。これを受けて本格的な発掘調査が実施された結果、複数の文化層（ヒトの生活の痕跡が残る地層、下の層ほど古い時代）があることがわかりました。堆積した表土や各時代を示す地層の下、第一文化層（最上層）では縄文時代前期末頃（約5,500年前）の遺構（昔の建築物・穴の跡など）が見つかり、その下の第二文化層からは、後期旧石器時代（約30,000年前～約12,000年前）の細石刃石器（小型で刃を持つ打製石器）群が確認されました。角二山遺跡といえば復元された竪穴住居が目についてしまい、縄文時代の遺跡としての面が強調されます。そのため第二文化層から出土された細石刃石器群が全国的に注目されていることはあまり知られていません。



角二山遺跡で出土した細石刃

この遺跡が見つかる以前、北海道と新潟では細石刃石器群が確認されており、それらの影響関係が指摘されていました。しかし二地点をつなぐ場所からの出土がなく、連続性を関連付けられませんでした。そんな中、角二山遺跡から東北地方で初めて5,000点以上に及ぶ細石刃石器群が見つかります。これにより地理的空白が解消され、北海道を含む東北日本の細石刃石器の研究が深まることになりました。

北海道東部、湧別川沿岸には、旧石器時代の白滝遺跡群が密集しています。この遺跡群の細石刃に特徴的な製作技術を「湧別技法」と呼び、同様の技法が北東アジアやシベリア付近でも確認されています。一方、本州で多く見られるのは、湧別技法とその他の技法を併用して製作された細石刃です。このことから、石器製作技術は大陸の北部から北海道を経て本州（東北部）に伝播し、その過程で環境に適応しながら複合的な技法が採用されたと考えられています。この考えに基づくと、湧別技法が多くを占める角二山遺跡の細石刃は、北海道から本州に流入した最初期の段階のものということになります。

さらに角二山遺跡の細石刃に使われた黒曜石は、元素分析により北海道白滝・赤石山産と推定されています。実は湧別技法の名前のもととなった湧別川上流は有数の黒曜石の原産地でもあります。これらのことから角二山遺跡とは、北海道から黒曜石を携えてやってきた、石器製作技術を持つ集団が残した遺跡ではないかと考えられます。もし角二山遺跡にこのような人々がやってきた時代がわかれば、北海道から本州へ渡った時期を知ることができ、環境史の成果と照らし合わせることでその背景や理由を考えることもできるのです。

角二山遺跡だけでなくその他の町内遺跡の紹介や出土遺物を展示しております。興味のある方は是非お立ち寄りください。

「角二山遺跡発掘50周年記念企画展 大石田の遺跡と遺物展」は
令和3年1月31日まで



※この人数は外国人も含めたものです。

町の人口 令和2年11月1日現在	
世帯数	2,326戸 (-7)
総人口	6,753人 (-27)
男	3,322人 (-7)
女	3,431人 (-27)
(10月中の異動)	
出生	0人
転入	3人
死亡	11人
転出	19人

楽がき帳

11月に入り、気温がぐっと下がりましたが、皆さんは冬支度はもうお済でしょうか。気象庁によると、今年の降雪量は北日本海側では少ない予報のようです。昨年は驚くほど雪の少ない冬でしたが、そこまでなくとも今年も穏やかな冬になることを願うばかりです。少し前になりますが、10月24日(土)に大石田スポーツクラブ主催のスラックライン体験会があり、最近運動不足なこともあり参加してみました。スラックラインとは、二点間に張り渡した専用ラインの上でバランスをとり遊ぶことで、簡単に言うと綱渡りを低く短くして誰でも楽しめるように進化させたスポーツです。歩き方は、肩の力を抜いて背筋を伸ばし、手をしっかり使ってバランスを取り、視線は前方に向けて片足立ちを交互に繰り返して少しずつ進むこと。書くのは簡単ですが、これが非常に難しく、最初の一步目だけでもなかなか進めません。足がぐらぐらと揺れて、生まれたての小鹿のよう。まずは正しい姿勢を身につける必要があるようです。ただ、スラックラインは練習すると誰でも上手になれるとのこと。運動効果も高いそうなので、皆さんも機会があればぜひお試しくださいね。